**認知症の困難事例検討提出シート**

　以下の項目で事例を提出できる方は提出をお願いします。全て書かなくても構いません。個人が特定できないように手を加えていただいても構いません。提出された事例をもとに講師と研修担当で、個人が特定できないように配慮の上、講義の中でのみ皆さんで検討します。事例は講義の中でのみ共有します。普段困難と考えている事例をこの機会にご提出いただけたら幸いです。事例概要の参考に担当が架空で作ってみました。A4・2枚程度で作成していただき、5/23（木）までにchiba.furepla.kaigo@gmail.comまで添付で送信してください。

1. 事例の状況

職員を見ると何度も同じことを話しかける。その都度対応をしているが、そのうち「馬鹿たれ、話聞け」など乱暴な言葉を言う。最近では利用者にも同じようなことを言うようになってきた。専門医に相談したが、本人の性格もあり、言わなくなるのは難しいのではないかとのことだった。

1. この事例で困難と感じている点

忙しい時間帯に上記のようなことがあると、対応に余裕が無く心の中ではついイライラしていることを感じている。本人に寄り添えていないのではないかと思っている。

1. 事例概要

【年齢】８０代後半

【性別】女性

【職歴】結婚するまでは家業の手伝い、結婚後は専業主婦だったが、夫の死後経理事務として働く

【家族構成】娘夫婦と同居していたが、認知機能の低下に伴い特別養護老人ホームへ入所

【認知機能】HDS-R17 MMSE20

【要介護状態区分】要介護3

【日常生活の自立度】認知症自立度Ⅲb

【既往症】高血圧・糖尿病

【現病】アルツハイマー型認知症

【服用薬】タナトリル、アリセプトなど

【コミュニケーション能力】会話は出来るが、かみ合わないことがある。

【性格・気質】気性が激しい。短気なところがある。

【ADL】食事は自立、排泄は時々間に合わないことがあるためリハビリパンツをはいている。入浴は洗い足りないことがあるため部分的に介助が必要。

【生きがい・趣味】仕事に就いていた時は、買い物

【生活歴】商家の７人兄弟の４番目で長女として生まれる。幼少時から弟妹の世話をするように期待され、面倒を見ていた。商家の手伝いをしながら弟妹にとっては母のようだった。結婚後は３人の子どもを設けた。夫はサラリーマンで子育てには興味が無く、ほぼ一人で３人の娘を育て上げた・・・など

【人間関係】娘以外の面会はない。昔は仕事関係などの友人が多かった。施設ではあまり他者と積極的には関わらない。

【本人の意向】出来る限り穏やかに暮らしたい

【事例の発生場所】施設